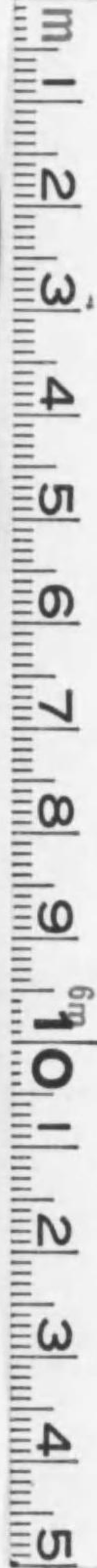


特279-14



\*1200601101918\*

考古圖集



始







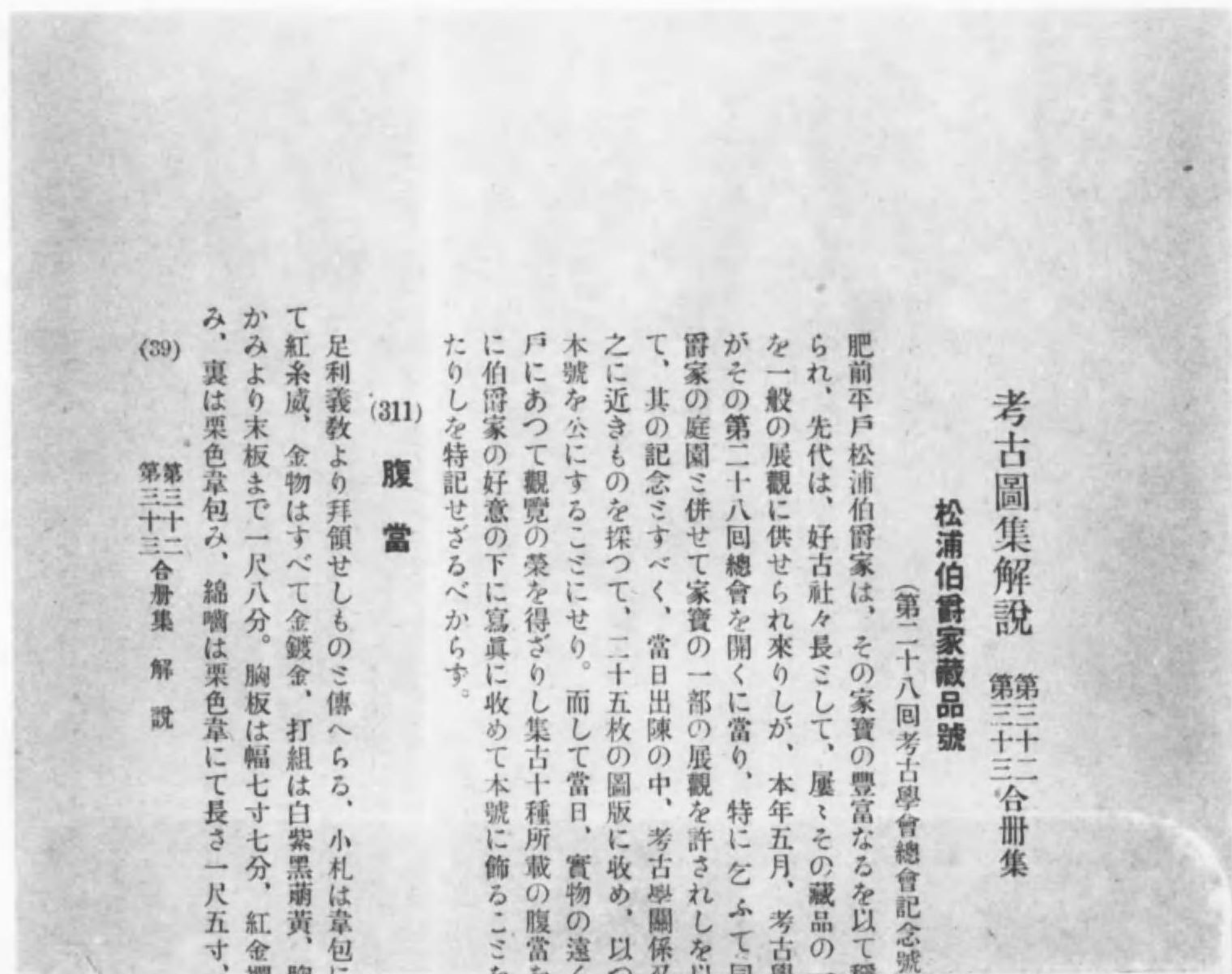
I 種

W



\*1200601101918\*





考古圖集解説

第三十二合冊集

松浦伯爵家蔵品號

(第二十八回考古學會總會記念號)

肥前平戸松浦伯爵家は、その家寶の豊富なるを以て稱せられ、先代は、好古社々長として、屢々その藏品の一部を一般の展覧に供せられ來りしが、本年五月、考古學會がその第二十八回總會を開くに當り、特に乞ふて同伯爵家の庭園を併せて家寶の一部の展覧を許されしを以つて、其の記念とすべく、當日出陳の中、考古學關係又は之に近きものを採つて、二十五枚の圖版に收め、以つて本號を公にすることにせり。而して當日、實物の遠く平戸にあつて觀覽の榮を得ざりし集古十種所載の腹當を特に伯爵家の好意の下に寫眞に收めて本號に飾ることを得たりしを特記せざるべからず。

(311) 腹當

足利義教より拜領せしものを傳へらる、小札は韋包にして紅糸威、金物はすべて金鍍金、打組は白紫黒萌黃、胸板かみより末板まで一尺八分。胸板は幅七寸七分、紅金襴包み、裏は栗色韋包み、綿嚙は栗色韋にて長さ一尺五寸、幅

(30)

第三十二合冊集 解説

八分、脇板は幅五寸五分、一の板は幅七寸八分にして小札十六枚、二の板は幅二尺一寸二分にして小札四十六枚、三の板は四十四枚、四の板は三十八枚、五の板十六枚、左右脇板十四、菱縫板は十二枚にして、左右幅二寸二分、小札の長さ、菱縫板のは二寸二分なるも、他は二寸一分なり。年代足利時代。

(312) 膝鎧

前者と同じく義教將軍より拜領せしものを傳ふ。小札黒塗、紺糸威、力革黒なめし、右鎧紐上より下散下まで長一尺六寸五分、左鎧は稍々長くしてその長さ一尺八寸。今右鎧を見るに上板小札十四枚、長さ二寸二分、廻り上に二尺三分、下に一尺八寸三分、次板小札の數七十七枚にして、長さ二寸一分、廻り上に一尺七寸八分、下散は小札二十八枚、長さ二寸二分、下散の左右にある「はづれ」は、合せて小札六十五枚、下散の打組は紫萌黃紅白、菱縫は紅糸、上板に銀綴糸七あり。

(313) (316) 蛙草紙繪卷

詞書にいふ、

「さる富貴なる人ありけるに、いかなるこゝにや、次第



考古圖集解説

第三十二合冊集

松浦伯爵家藏品

(第二十八回考古學會總會記念號)

肥前平戸松浦伯爵家は、その家寶の豊富なるを以て稱せられ、先代は、好古社々長として、屢々その藏品の一部を一般の展覧に供せられ來りしが、本年五月、考古學會がその第二十八回總會を開くに當り、特に乞ふて同伯爵家の庭園に併せて家寶の一部の展覧を許されしを以つて、其の記念とすべく、當日出陳の中、考古學關係又は之に近きものを採つて、二十五枚の圖版に收め、以つて本號を公にすることにせり。而して當日、實物の遠く平戸にあつて觀覽の榮を得ざりし集古十種所載の腹當を特に伯爵家の好意の下に寫眞に收めて本號に飾ることを得たりしを特記せざるべからず。

(311) 腹當

足利義教より拜領せしもの之傳へらる、小札は韋包にして紅糸威、金物はすべて金鍍金、打組は白紫黒萌黄、胸板かみより末板まで一尺八分、胸板は幅七寸七分、紅金襴包み、裏は栗色韋包み、綿嚙は栗色韋にて長さ一尺五寸、幅

(39) 第三十二合冊集 解説

八分、脇板は幅五寸五分、一の板は幅七寸八分にして小札十六枚、二の板は幅二尺一寸二分にして小札四十六枚、三の板は四十四枚、四の板は三十八枚、五の板十六枚、左右脇板十四、菱縫板は十二枚にして、左右幅二寸二分、小札の長さ、菱縫板のは二寸二分なるも、他は二寸一分なり。年代足利時代。

(312) 膝鎧

前者と同じく義教將軍より拜領せしもの之傳ふ。小札黒塗、紺糸威、力革黒なめし、右鎧紐上より下散下まで長一尺六寸五分、左鎧は稍々長くしてその長さ一尺八寸。今右鎧を見るに上板小札十四枚、長さ二寸二分、廻り上にて二尺三分、下にて一尺八寸三分、次板小札の數七十七枚にして、長さ二寸一分、廻り上にて一尺七寸八分、下散は小札二十八枚、長さ二寸二分、下散の左右にある「はづれ」は、合せて小札六十五枚、下散の打組は紫萌黄紅白、菱縫は紅糸、上板に銀綾糸七あり。

(313) (316) 蛙草紙繪卷

詞書にいふ、  
「さる富貴なる人ありけるに、いかなるこゝにや、次第



(40) 次第にをころへ給ひて、二たびさかゆべしもおほへざりければ、清水の観音を念じたてまつりて、年頃まいりけるしるしに、き物一まうくる果報あらせたまへ念じるたりけるに、此山のふもに雄々しくたのしけなる家あり、布をほして置けるが、布のあたりへ牛が二ひき來りてくひけるを、ふ思議に思ひて見るほきに、此牛布をみなくひぬまばかりありて、女も出て布を取れむとするに、一もなし、あなふしぎ、此布をたが取入れたるぞ、見えぬは、いふに、取入れたる人なしと口々にいふ、さてはぬすびごりたるにこそ占をこへすさいひはく所に、此男よりきて何事をおほせ候やらむさいへば、やいろいろふまじき事かなさいふものもあり、又あれかやうなるものぞりつらむ能尋ねよなさいふものもあり、何者ぞおそろしの姿や、まよく出ねなき、くちん、にいふを、しはしきかされたまへ、姿こそか様に候へども、仔細ある者にて候、何事にも人のふしむに思食事をかき出す能をもちて候いたうなおはせ給ふぞさいへば、さらば只今うせたる物をかき出給へさいふ、いさやすき事に候、さうりたるひみやがてかき出候なむさいへば、まよく、さうりて男女あるかぎりの人出たれば、みなかぎはたして、すべてあやしくおはせず、さりながら此邊くさく候にて、

くろをせむごおもふ事に候す、姫御前のやまり候所の地七尺の下にうつされ候ひき蛙ご申者にて候が、夏はあつく、冬は寒にせめられて候へば、指出て日にあたり涼しき風にもあたりたく候、此うれへひめ御前の病ご成てなやまし候なり、是日定てかき出されまいらせ候はんすらん、かまへてたきころされ候はて命いきさせ給へ、年來のねがひかなひ候て、涼しきかせにもあたり候はし、生々世々の御まはりお祈共成まいらせ候べし、是等の次第御おしはかりあるべく候、此事申たく候て來候つるなり、我身あやしけに候へ共、小通を得たる者にて候、今より後も此身の大事なきの候はんおりは、つけ申べく候、さ様に候はゞ國王の御おんをも蒙、諸人の愛憐もなきかおはしまさざらんさいふ。其時興ある事聞つと思て、明日かき出で掘いて段々に切すてんと思つれ共か様に來ての給神妙なれば善惡はくらす作て祝奉るべしとの給ふご行末までもしる人になりて何事をも告給へ又かき出す事あらばこれよりも告申べく候、寶殿作て御施にあかせ奉へしさいへば、悦て歸にけり。さて姫君のね所の下、七尺ほりて、ひきかへる取出て後は、ひめ君の病やみにけり、悦てやかて聲にさりつ、遊々しく富さかへて、約束のままほくら作り拜殿なきたて、復神樂ふだんの法華經供養

ここかしこかぎあるきて、此牛のそばへよれば、何條牛はぬす見をせんそなき、わらひあひたれば、立まはりかきてさりては、此牛がくさく候て、口をあけて手をさし入て、布を引出て是にて候けるかなさいふ。この牛ののさより布みなひき出つ。みれば一もうせず、不思議ささいふはかりなし、人みな信をおこす、此事をあるし聞て不思議の事成て、病をもかき給ふかなと問ば、されば申にも及候はず、それをこそむねまかき候へさいふ。さらば是の大事の姫は前年來病大事におはするを薬師も何病ささいふは、御子陰陽師も何のたよりさいふさなし、思はかりなきをいかなる病ささいふもかき給ひなんやさいふ。承ぬ、せんあく何の御病ささいふもかきたてまつらむ事やすく候さいへば、さて參へき直垂帷子なき袋に入てたひたれば、辻堂の有けるにままりて、此袋いだき持て、鳥ならば持てにけなんする物をさ、おもひてうつつするたり。さて夜中はかりにおそろしけなる聲にて、物かき給ふ殿に物申さむさいふ。誰ならんごおもひて、是に候ごさいふ。これはあす姫君の御病かき給はんする人にておはしませり。此大りやう殿の姫御前の御病はかならずあたらはら

法なき、さるべき社々におこらす行けるごなむ。』  
ごあり。足利時代に盛行せし一種のお伽噺風のものを探りしもの、箱書に土佐光信筆、飯尾常房書ごあり、畫風より見て、これを光信ごするも、不可なからん。長さ二丈二尺六寸五分、幅一尺八分五厘。圖版は前後四ヶ所をさつて寫せり。

(318) 傳又兵衛婦人風俗圖屏風

浮世繪派の始祖として知らるゝ又兵衛岩佐勝以は、世人呼んで浮世又兵衛ごなす。本圖版は彼が筆になりし六曲屏風のすべてを示せしもの、以つて徳川初期に於ける婦人風俗の一端を知るに足らん。

(323) 師宣筆四條河原芝居繪卷物

「此一軸は明曆三丁酉歲猿若勘三郎與伴共に致上京無上も御方様より梓に明石ごゆう名並衣黨等賜り於四條河原芝居興行之圖土佐氏畫也至後代猿若家家可爲規模者也  
千時明曆三丁酉歲文月千鶴萬龜且  
菱川 師宣  
ミ奥書あり。以つて本繪卷の内容を知るに足るべし。」



(42)

第三十二合冊集 解説

一卷長十四尺八寸一分、十枚の圖版は、その殆んさすべてを示せしを以て、明曆當時に於ける芝居の概要を察するに足るべし。

(333)

三河内如猿螺中皿

三河内窯は有田分窯の一にして、肥前國彼杵郡析尾瀬村大字三河内にあるもの、慶長の年、朝鮮の陶工巨關なるもの、松浦侯に従ふて歸化し、姓を今村と稱して開窯せしに始まる。その孫今村如猿、東彼杵郡江上村に良土を發見し、三河内村に築窯して、始めて三河内燒の名あるに至りしなり。本圖版のもの、如猿の作にして、皿裏に

元祿五年申 三河内平山

と墨銘あり。螺を以て猿面を現せるは面白し。

(334)

牧溪筆杜子美

本圖版は杜子美を描けるもの、展觀當日、多くの人の激賞せしものなりしを以て記念さすべく、ここに收めたり。

(355)



當 腹  
(藏家浦松野伯)

311



第三十二、三十三合冊集(松浦伯野家蔵品)

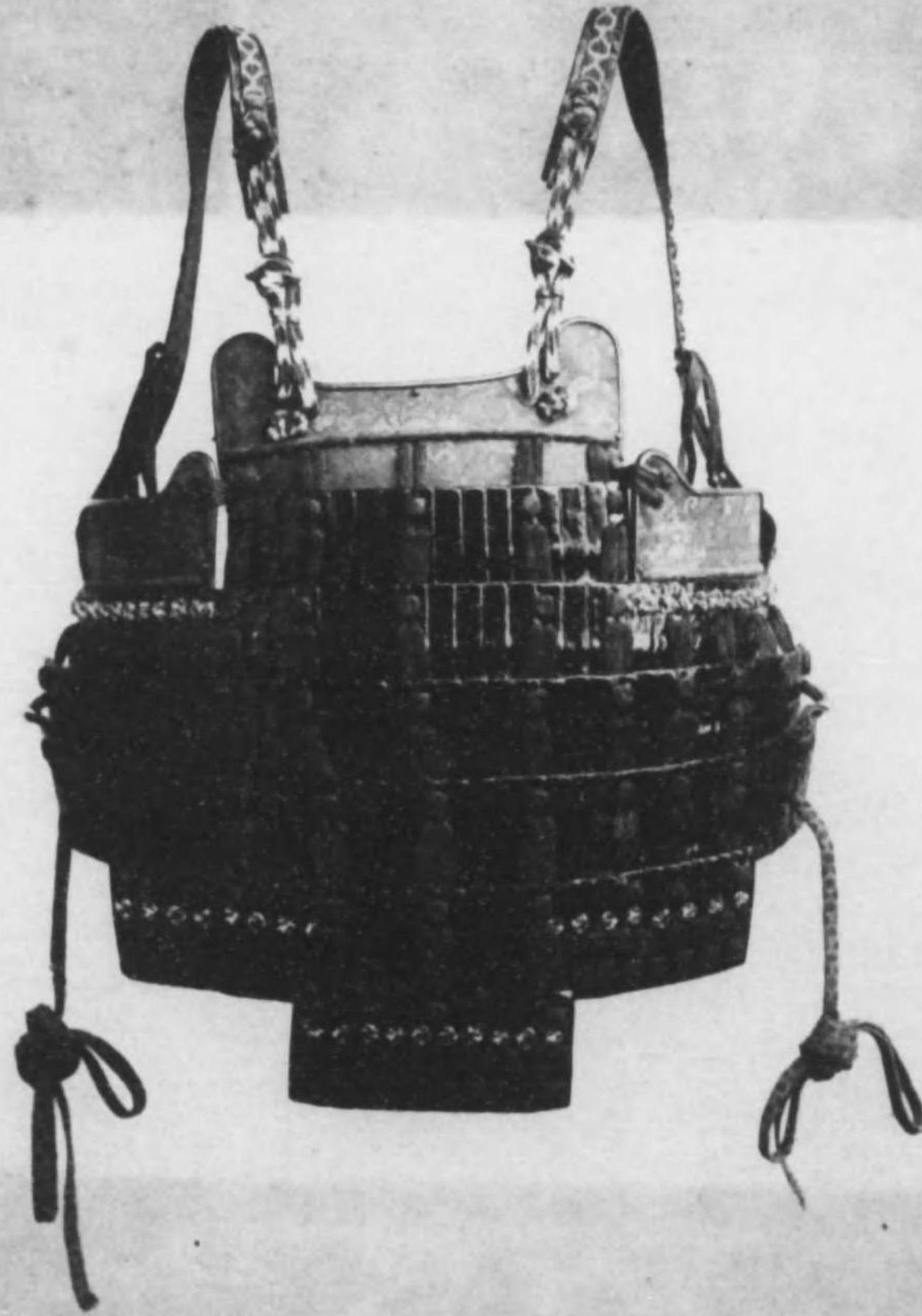


\*1200601101918\*



當 腹  
(藏家浦松吉伯)

311



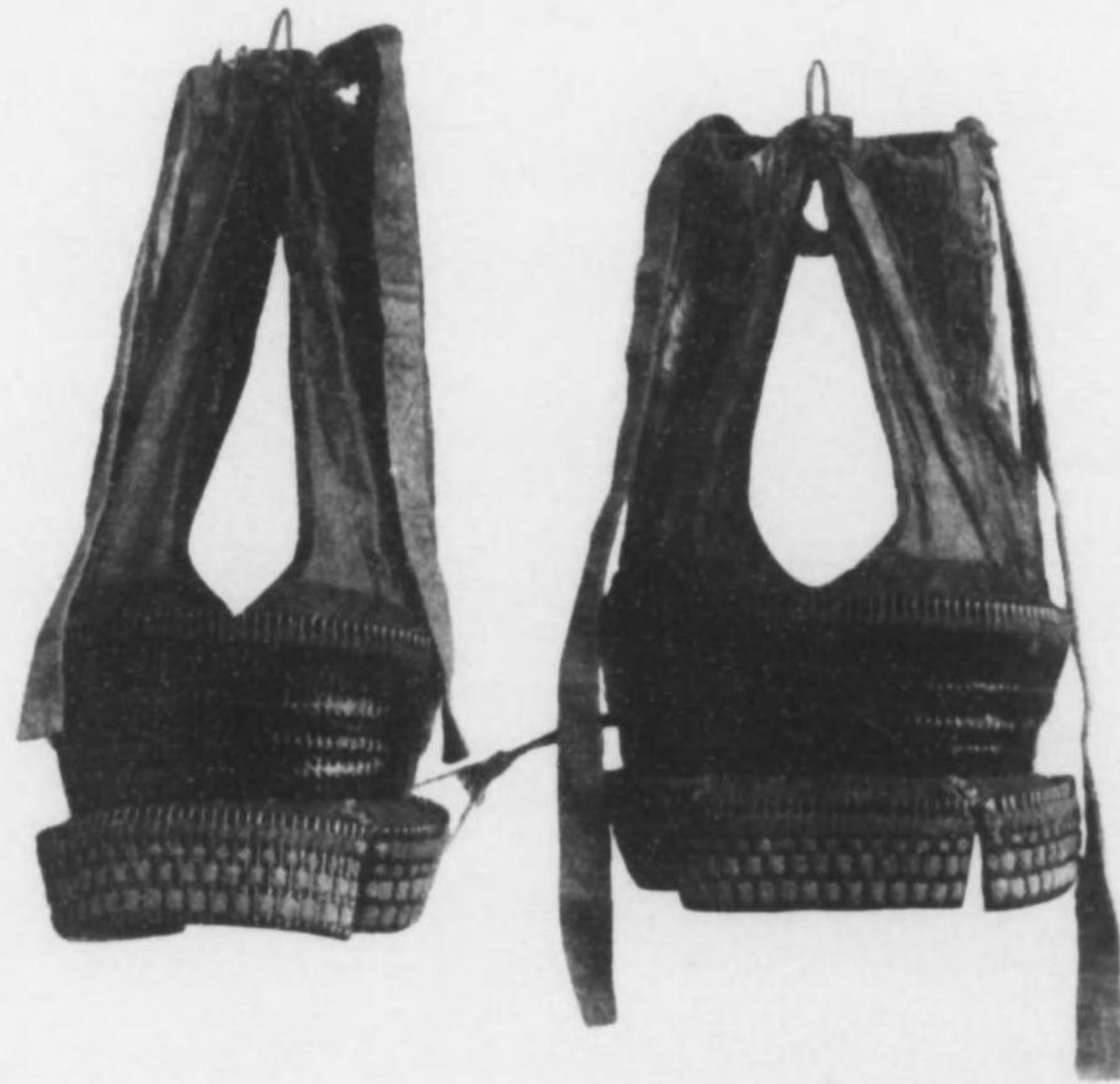
第三十二、三十三合冊集(松浦伯房家藏品)



\*1200601101918\*



笠 膝  
(藏家浦松野伯)



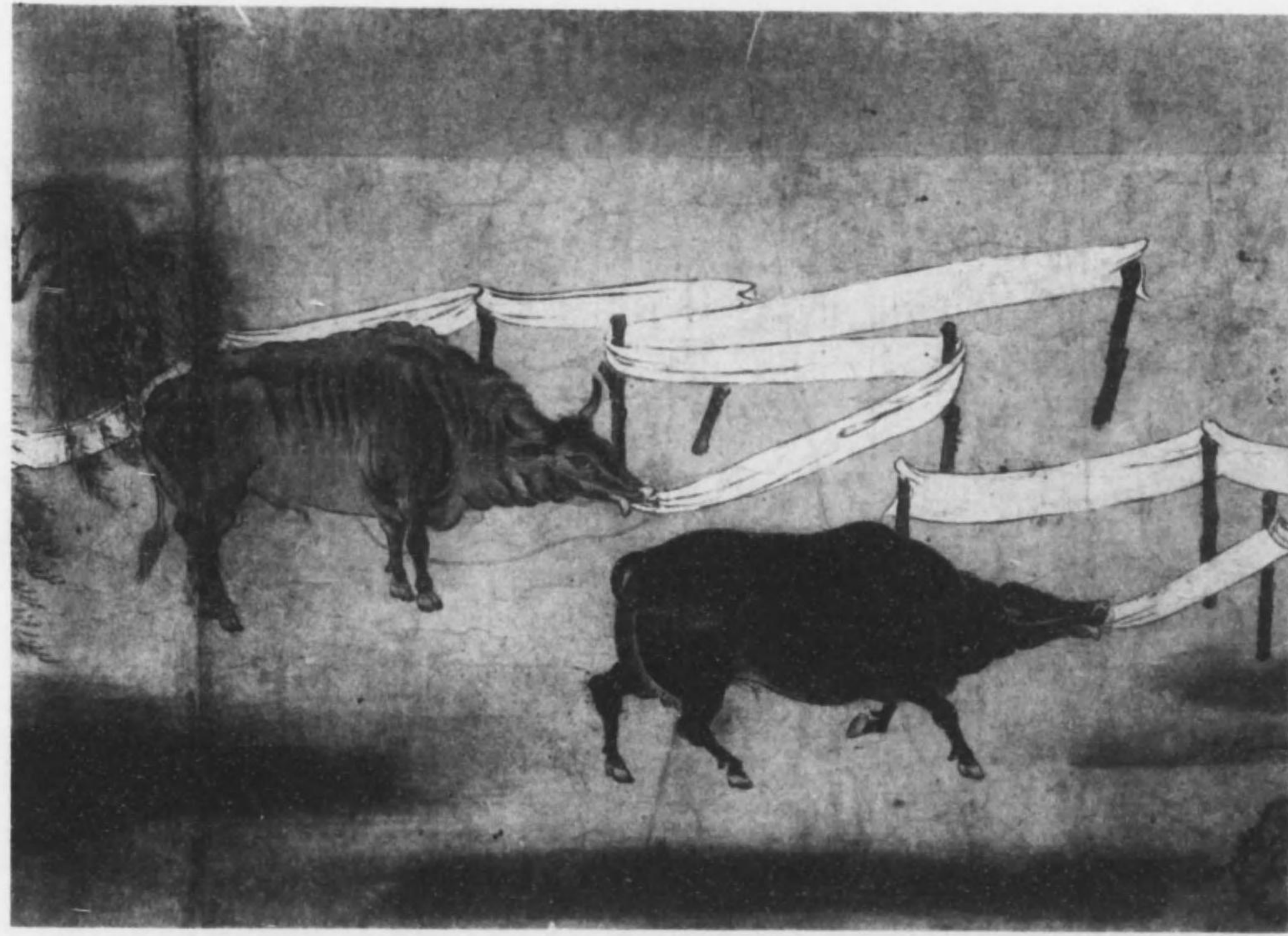
第三十二、三十三合冊集(松浦伯野家藏品號)



\*1200601101918\*



(1) 紙 草 蛙  
(藏家浦松爵伯)



\*1200601101918\*

第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



(2) 紙 草 蛙  
(藏家浦松爵伯)

314



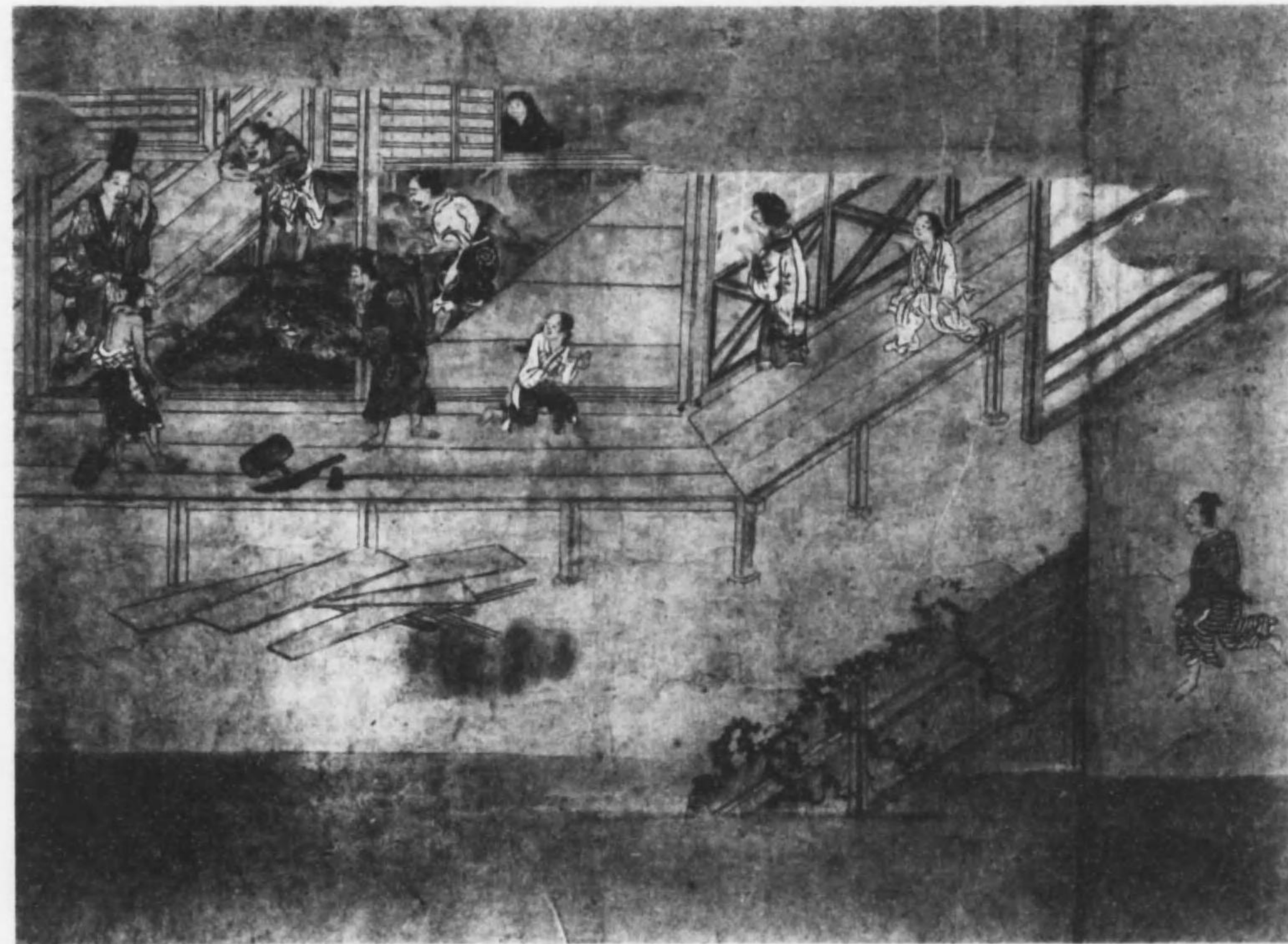
\*1200601101918\*

第三十二、三十三台冊集(松浦伯爵家藏品號)



(3) 紙 草 蛙  
(藏家浦松爵伯)

315



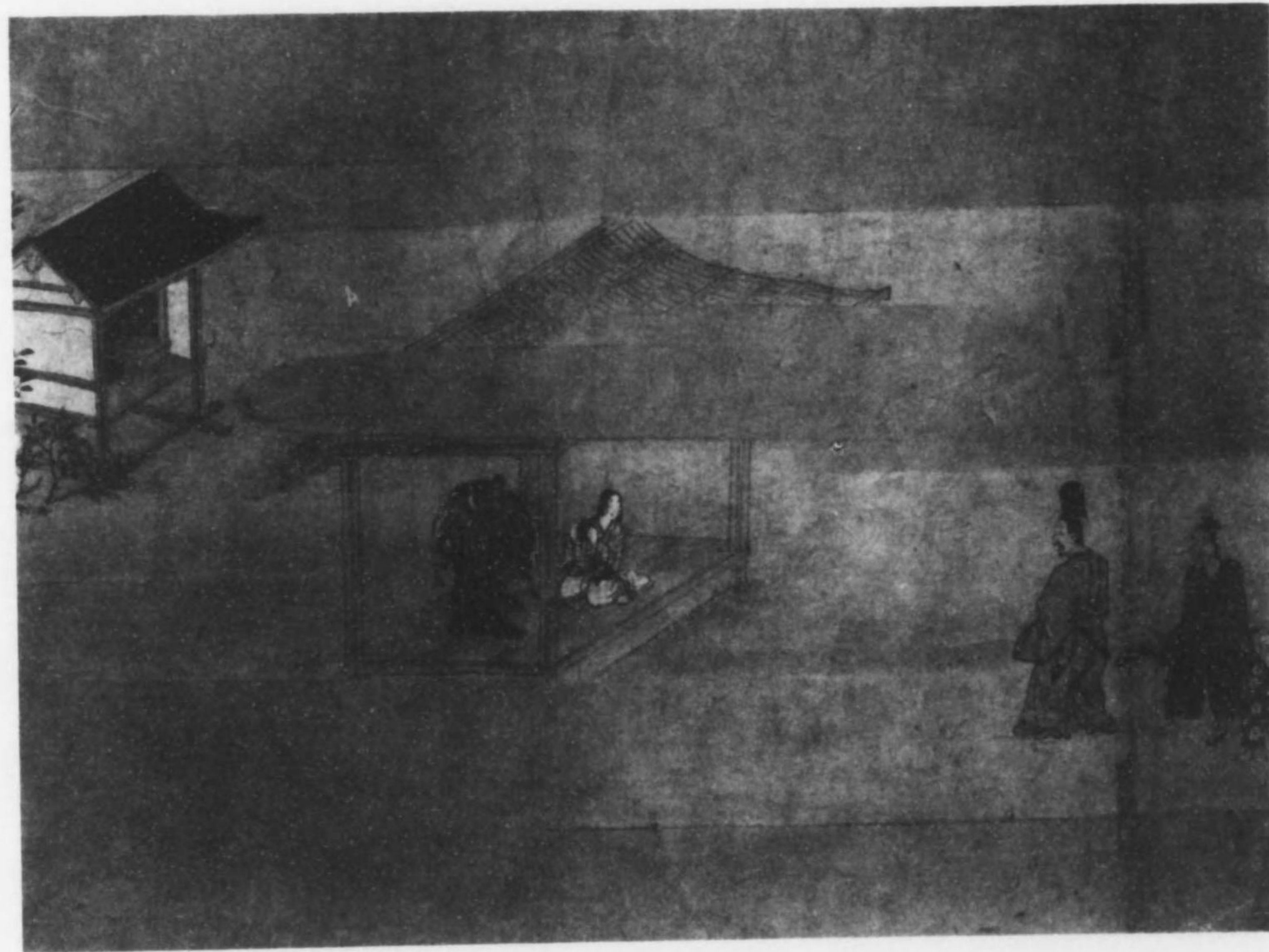
\*1200601101918\*

第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



(1) 紙 草 蛙  
(藏家浦松野伯)

316



第三十二、三十三合冊集(松浦伯野家藏品號)



\*1200601101918\*





第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*











(4) 風屏圖俗風人婦筆衛兵又傳

(藏家浦松書伯)

320



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



(5) 風屏圖俗風人婦筆衛兵又傳  
(藏家浦松書伯)

321



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*





第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



(1) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松魯伯)

323



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



(2) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

324



第三十二、三十三合冊集 松浦伯爵家藏(44號)

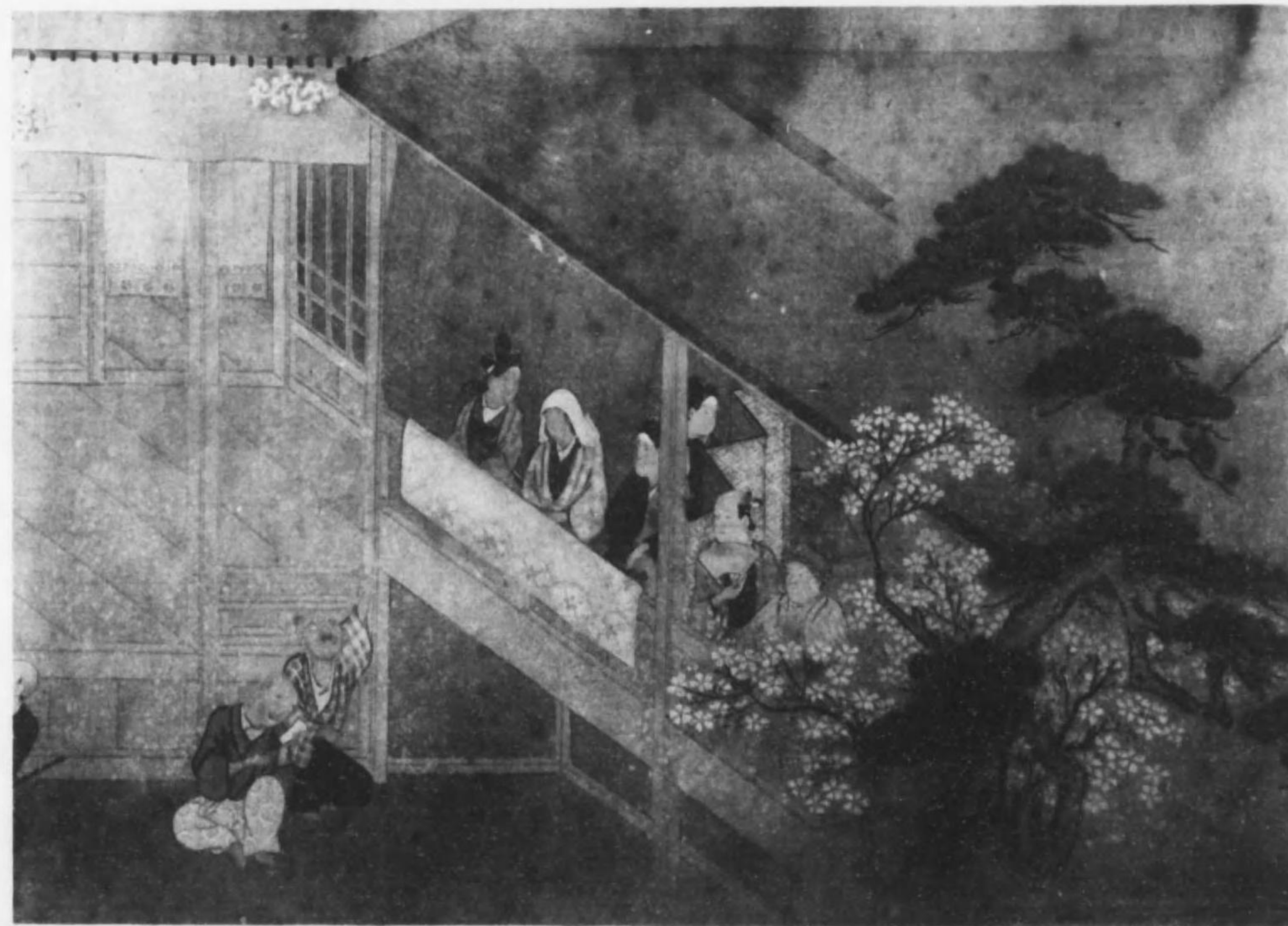


\*1200601101918\*



(3) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

325



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品)

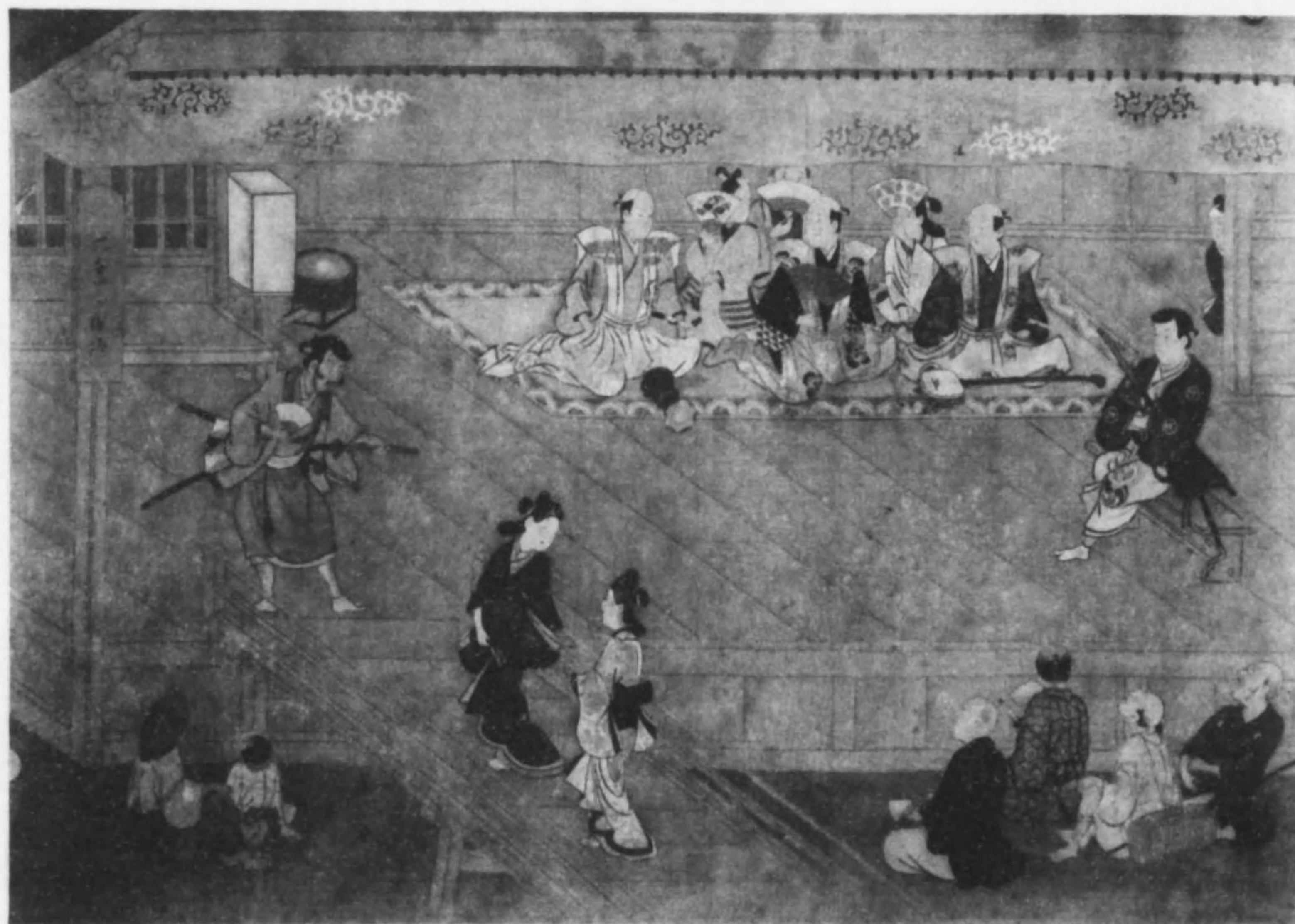


\*1200601101918\*



(4) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

326



第三十二、三十三合冊集 松浦伯爵藏(附錄)

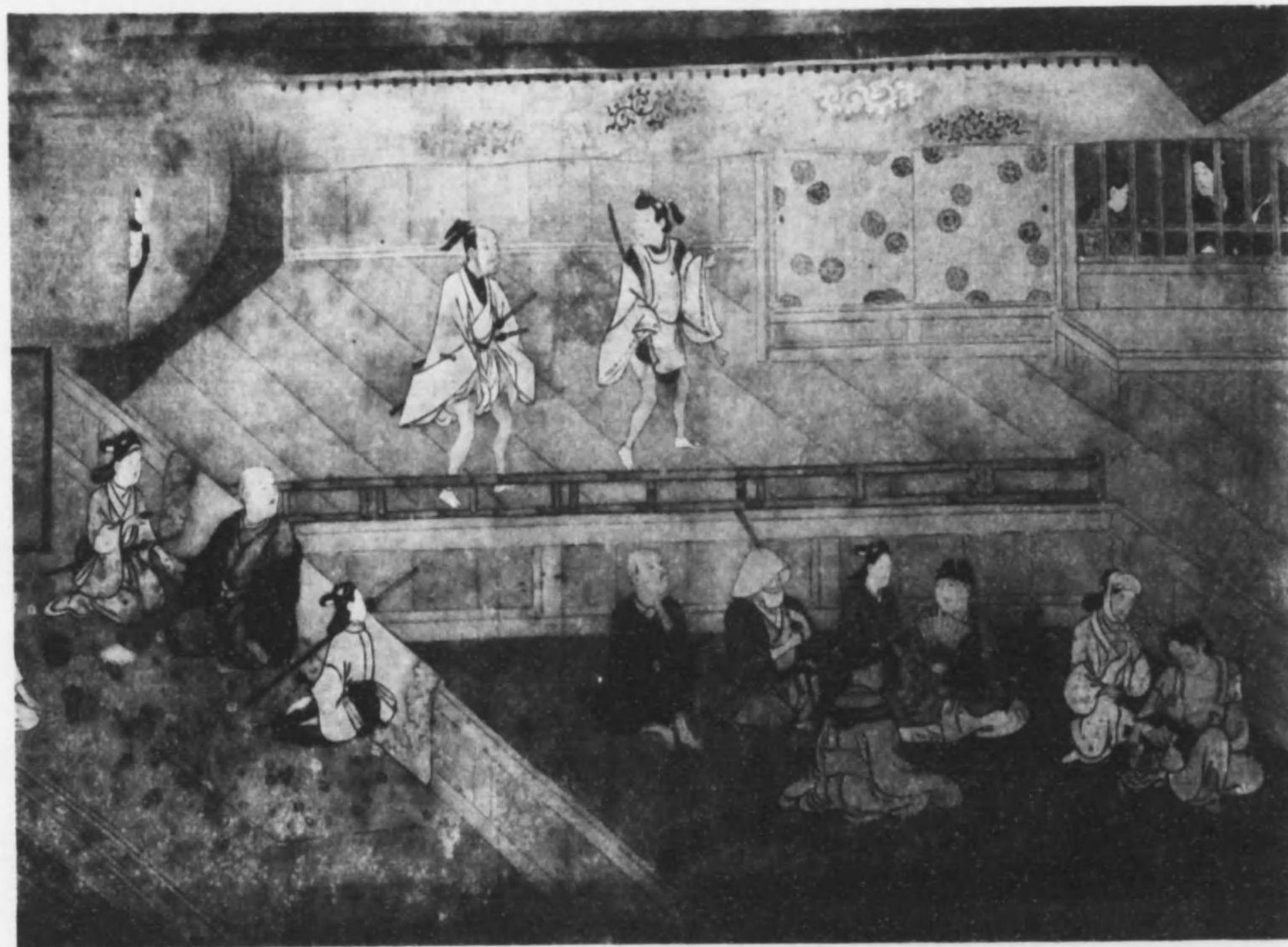


\*1200601101918\*



(5) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

327



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



(6) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

328



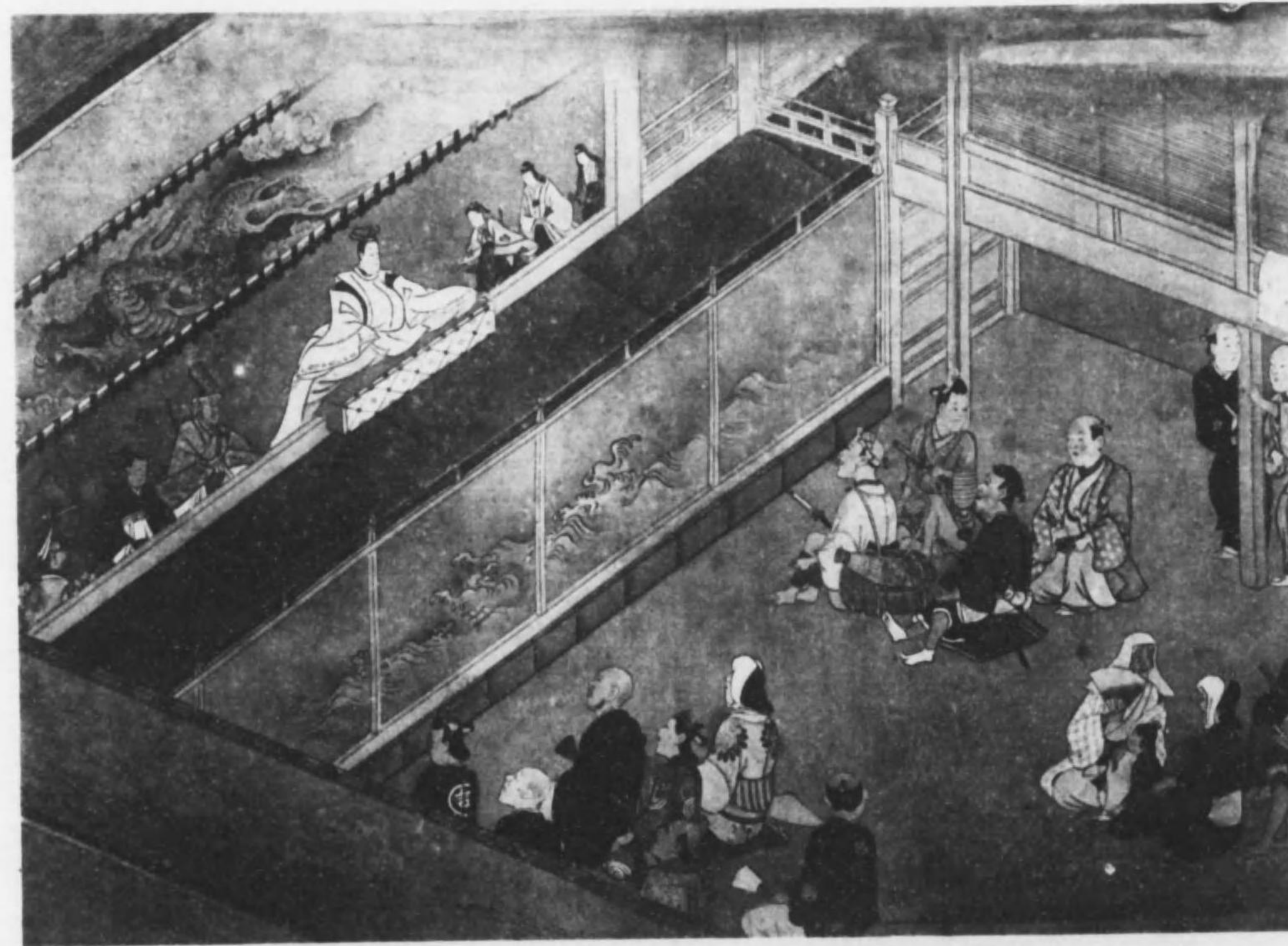
第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品)



\*1200601101918\*



(7) 物卷繪居芝原河條四筆宣帥  
(藏家浦松爵伯)



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)

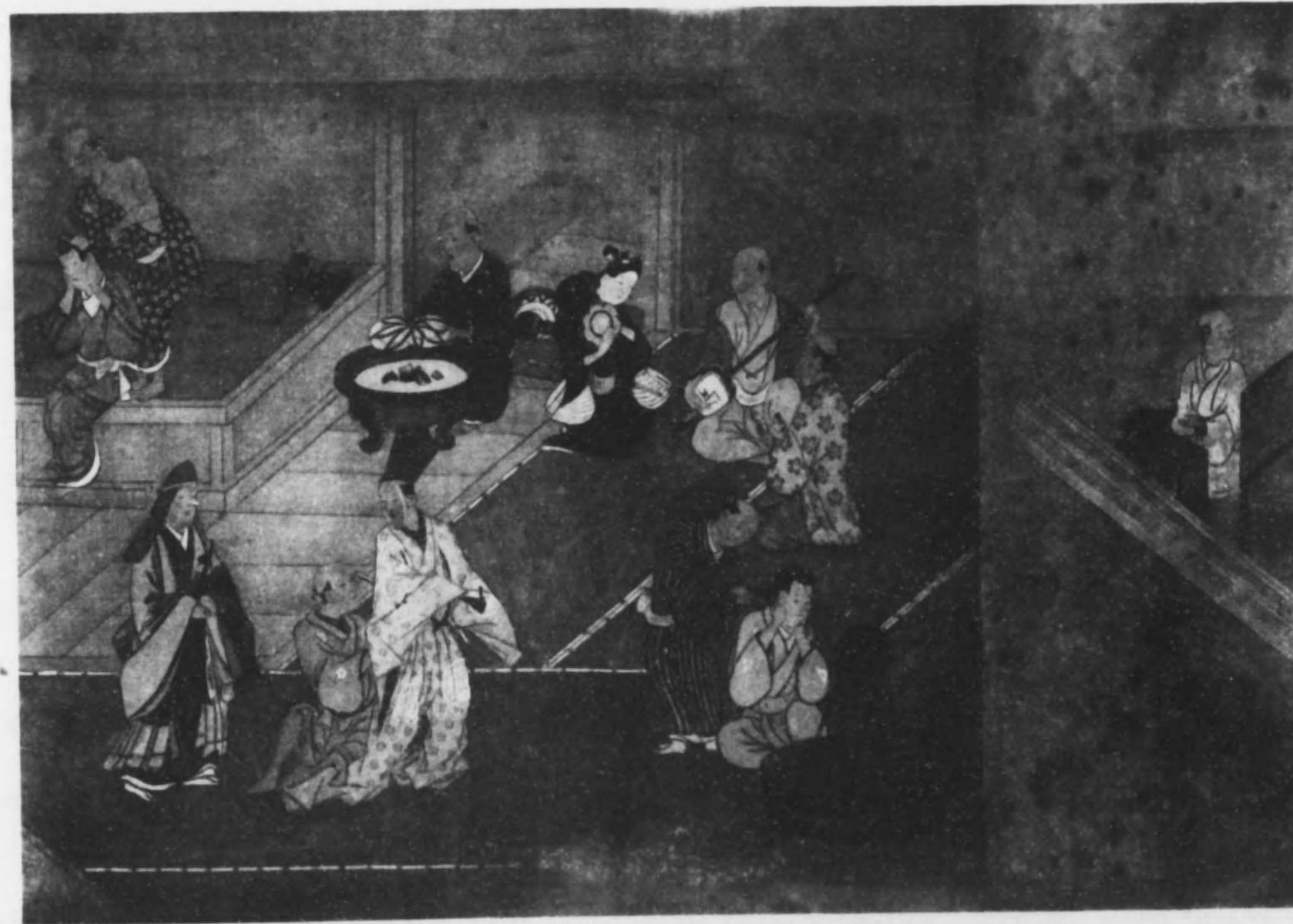


\*1200601101918\*



(8) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

330



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)

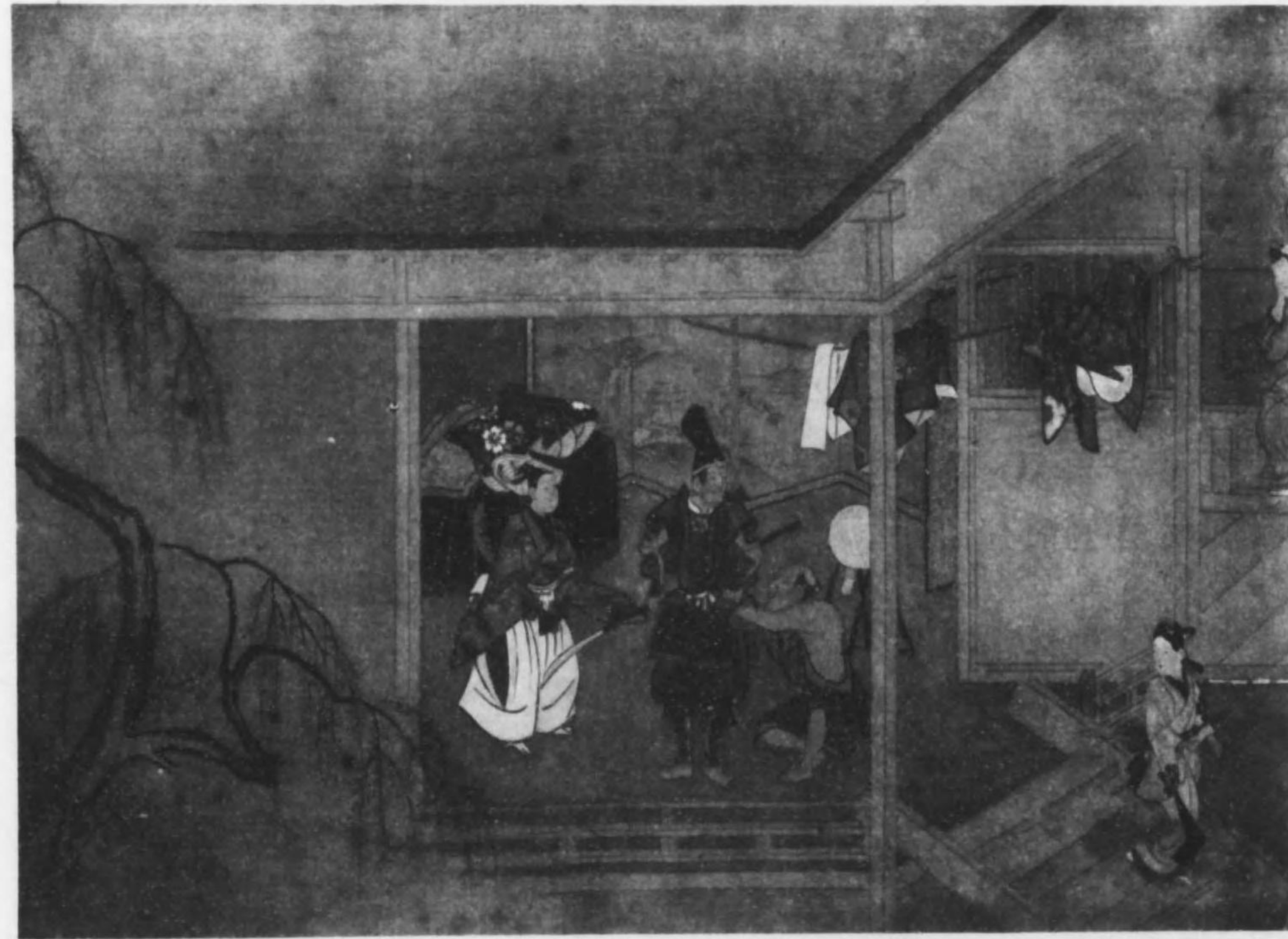


\*1200601101918\*



(9) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

331



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)

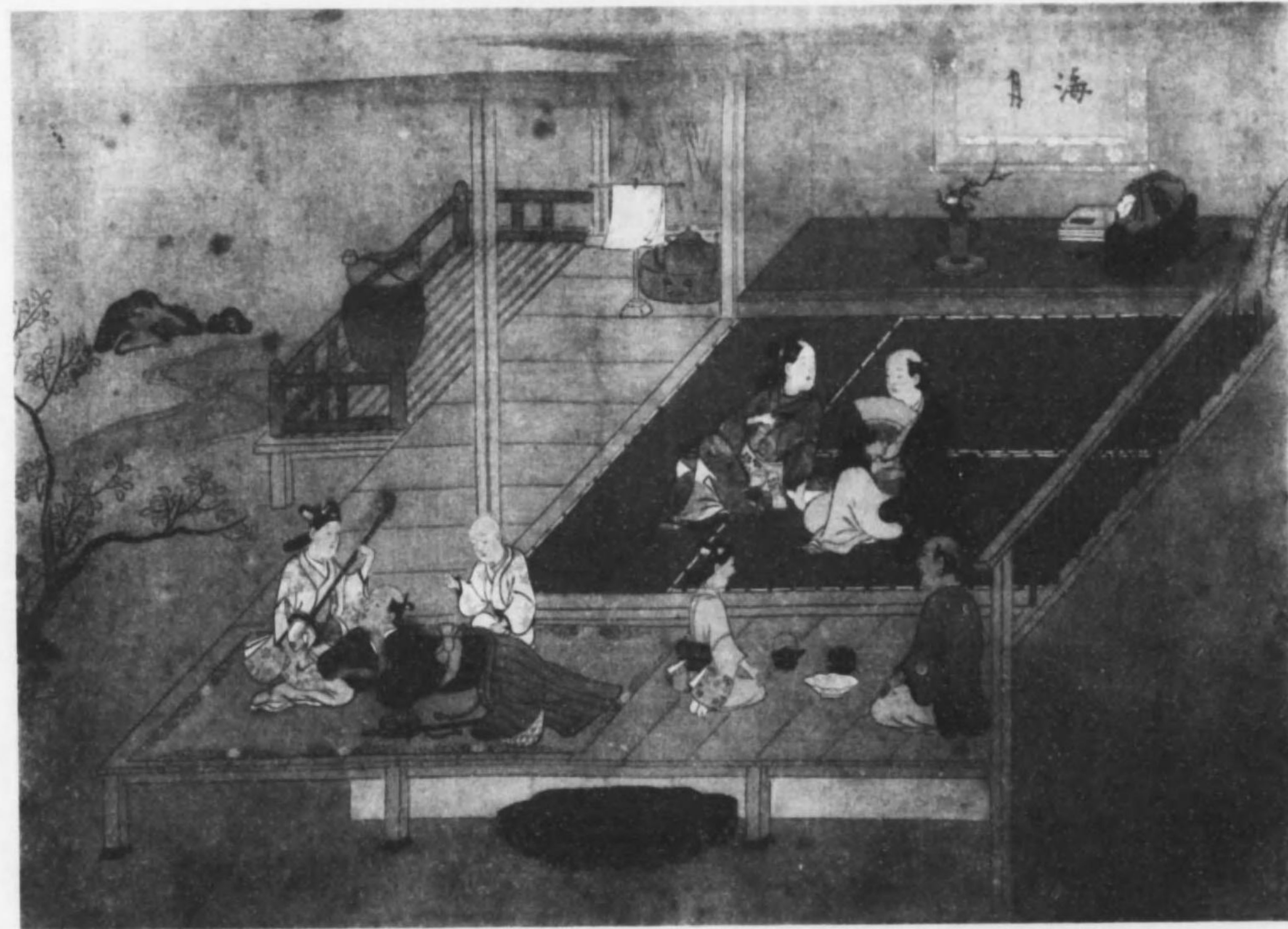


\*1200601101918\*



(10) 物卷繪居芝原河條四筆宣師  
(藏家浦松爵伯)

332



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)

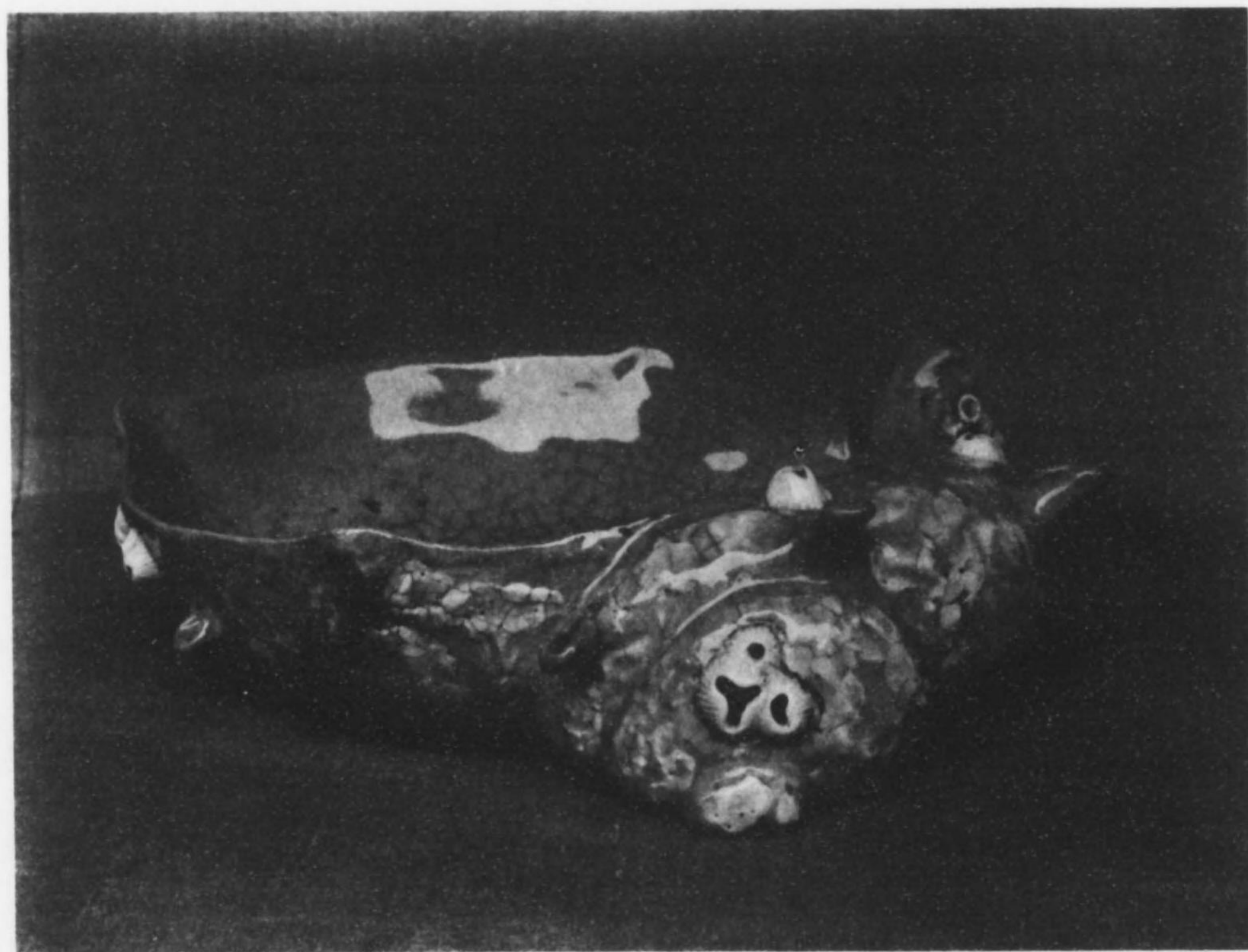


\*1200601101918\*



皿中螺猿如內河三  
(藏家浦松爵伯)

333



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



(1) 美子杜筆溪牧  
(藏家浦松爵伯)

334



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



(2) 美子杜筆溪牧  
(藏家浦松爵伯)

335



第三十二、三十三合冊集(松浦伯爵家藏品號)



\*1200601101918\*



終

